

「うきの昔ばなし」彩る14点

宇城市立郷土資料館で挿絵展



連載中の「うきの昔ばなし」の挿絵を描く村上明日香さんと原画＝宇城市

宇城市の広報紙で連載中の「うきの昔ばなし」の挿絵展が、同市豊野町の市立郷土資料館で開かれている。26日まで。

連載は昨年9月、「広報うき『ウキカラ』」でスタート。市民や団体がまとめた旧5町に伝わる昔話を基に再構成した。挿絵は市立不知火美術館の学芸員で、崇城大芸術学部日本画コース出身の村上明日香さん(38)が担当している。

14点の水彩画や日本画を展示。小川阿蘇神社(小川町)のクスノキを守る2匹の竜、大野川(松橋町)で助けられたカップルの恩返しなど、不思議な話に添えられた絵は柔らかいタッチと色合いが印象的だ。資料館は「市民でも知らない話が多い。原画を通じて宇城の今昔に思いをはせてほしい」と呼び掛けている。無料。月・木曜休館。

(飛松佐和子)